

科目名	仏教史研究 I [院]					単位	2.0
担当教員	小島 恵昭						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1, 2	授業番号	4395

●授業のテーマ  
日本仏教史研究

●到達目標  
インド社会で変容した形態である大乘仏教が、日本社会でも変容していった歴史を読み取り、なぜ変容していったのか理解できる能力を身につけることを到達目標とする。

●学習内容(授業概要)

釈尊の創始した仏教は、日本に伝来した「仏教」とは相当異なっている。インドにおいて変容した形態である大乘仏教は、西域・中国・朝鮮半島を経て、日本に伝来した。親鸞に至っては、戒律・浄土などその他の日本仏教と異なった理解を示した。日本仏教の異端派である親鸞教は戦国期に日本社会に大きく受容されていった。前期では大乘仏教の誕生から親鸞の師法然房源空まで、後期では親鸞教とその受容について受講生と共に考察する。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. 序論—仏教史研究法
2. 大乘仏教の誕生
3. 大乘仏教の中国への伝来
4. 大乘仏教の朝鮮半島への伝来
5. 仏教公伝と飛鳥仏教
6. 聖徳太子の実像と虚像
7. 僧尼令
8. 戒師鑑真の招請
9. 行基の民衆教化と福利事業
10. 『日本霊異記』にみる民衆の仏教信仰
11. 最澄の大乘円頓戒
12. 円仁の常行三昧将来
13. 聖と上人
14. 円頓戒嫡伝の法然房源空
15. 阿弥陀来迎の法然浄土教

●準備学習・事後学習の内容

毎回資料を配布しますので、予め下調べをすること。事後学習として毎回授業のまとめと感想を書いてください。

●成績評価方法・基準

毎回授業のまとめと感想 30%、学年末レポート試験 70%。

●テキスト（必携）

●参考文献／その他  
授業時に指示。

●履修上の注意  
毎回資料を配布しますので、必ずファイルに綴じてください。